

令和4年度 新国道街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要報告について

1. 概要

調査地点 茅ヶ崎市本村

調査期間 令和4年9月12日～令和5年2月3日（埋戻し・撤収2月末完了予定）

調査主体 茅ヶ崎市教育委員会

調査担当者 三戸智也・田中万智

調査目的 新国道線街路事業に伴う記録保存

調査面積 約550㎡

発見遺構（平安時代以前）

中世：畔・水田

平安時代：畔・水田

出土物（平安時代以前）

中世：青磁、かわらけ

平安時代：木製品、須恵器、土師器、灰釉陶器、緑釉陶器

縄文時代：縄文土器、石鏃、樹木

経過

11月：中世層（Ⅲ層）、古代層（Ⅳ・Ⅴ層）を掘削

12月：古代層（Ⅳ・Ⅴ層）を掘削

1月：畔・溝調査、縄文時代層掘削

2月：埋め戻し、撤収

その他 現地説明会を令和4年12月3日（土）に開催し、160名以上の方に来跡いただきました。

2. 出土有機物資料について

(1) 主な有機物資料

- ・桶（底・蓋）、箸、下駄、板状木製品、杭状木製品、トンボの羽、コガネムシの羽、樹木
- ・墨痕のある木製品の出土もあり

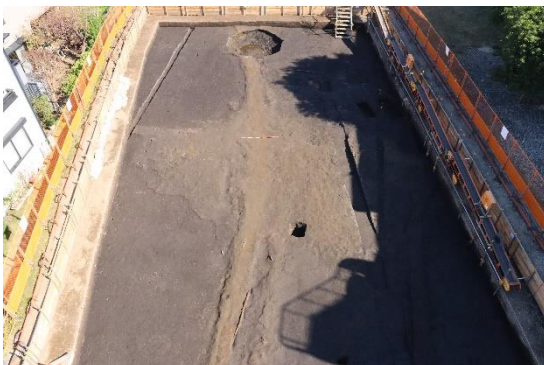


写真1 中世期の水田（西から）



写真2 出土した下駄



写真3 平安期の水田（西から）



写真4 溝と遺物出土状況（東から）



写真5 畔内の木材・木製品



写真6 溝出土の緑釉陶器



写真7 包含層出土の石鏃